

## JCMA 報告

## 一般社団法人日本建設機械施工協会 令和6年新年会報告

本協会の新年会は、令和6年1月9日（火）午後4時から機械振興会館地下2階ホールにおいて開催された。

開会に先立ち、1月1日（月）に発生した令和6年能登半島地震を受けて、黙祷を捧げた。

金井道夫会長は、冒頭の挨拶にて、「能登半島地震で亡くなられた方々へはお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。復旧・復興に果たす建設機械の役割は非常に重要であり、会員企業の方々、関係者の方々とともに、全力で早期復旧・復興に取り組んでいきたい」と弔意を示すとともに、被災地の復旧・復興への協力を呼び掛けた。さらに、「欧州では、災害発生時の建機搬入の拠点づくり、ICT施工におけるデータ共用やカーボンニュートラルへの取り組みも進んでおり、参考になる点も多い。本協会においても重点的に調査を進め、皆さまのお役に立ち

たい」と述べた。

次に、足立敏之参議院議員が挨拶し、「能登半島地震では被災された地元建設業の皆さんも地域の安全安心を回復するために懸命に頑張っている。TEC-FORCEも大量に被災地に入っており、報道されている以外でも様々な分野の人達が復旧復興に向けて頑張っておられることも認識しなければならない」と述べた。

続いて、建山和由副会長（立命館大学総合科学技術研究機構教授）の発声で、被災地における関係者各位の尽力に対し敬意を表するとともに、一日も早い復旧・復興を祈念して静かに杯を上げた。

最後に、佐藤恭輔理事（株竹中工務店専務執行役員）が閉会の挨拶を行い、令和6年新年会は午後5時に終了した。



金井道夫会長



足立敏之参議院議員



建山和由副会長



佐藤恭輔理事